

### 第3回 碧南市 景色づくり委員会 議事録

◆日時：平成23年6月24日（金）

◆時間：午後13時30分から15時まで

◆場所：碧南市役所 2階談話室1

| 番号                 | 役 職                                            | 所属団体・職                             | 氏名        | 分 野            |
|--------------------|------------------------------------------------|------------------------------------|-----------|----------------|
| 1                  | 委員長                                            | 愛知県立芸術大学<br>デザイン専攻・美術学部 准教授        | 水津功氏      | 学識経験<br>(デザイン) |
| 2                  | 副委員長                                           | 名古屋大学院<br>環境学研究科都市環境学専攻准教授         | 村山顕人氏     | 学識経験<br>(都市計画) |
| 3                  | 委 員                                            | 名古屋大学大学院<br>環境学研究科都市環境学専攻教授        | 清水裕之氏     | 学識経験<br>(建築)   |
| 4                  | 委 員                                            | 碧南商工会議所                            | 磯貝忠通氏     | 商工業            |
| 5                  | 委 員                                            | あいち中央農業協同組合 営農部<br>副部長 兼 碧南営農センター長 | 小笠原勝人氏    | 農業             |
| 6                  | 委 員                                            |                                    | 石川治氏      | 公募市民           |
| 7                  | 委 員                                            |                                    | 藤岡旭氏      | 公募市民           |
| 8                  | 委 員                                            |                                    | 竹原幸子氏     | 公募市民           |
| 9                  | 委 員                                            |                                    | 伊藤玉山氏     | 公募市民           |
| 10                 | 委 員                                            |                                    | 鳥居正樹氏     | 公募市民           |
| 1                  | 顧 問                                            | 愛知県建設部公園緑地課 課長補佐                   | 桜井種生氏     | 関係機関           |
| 2                  |                                                | 愛知県建設部都市計画課 課長補佐                   | 市石誠氏      | 関係機関           |
| 3                  |                                                | 愛知県建設部公園緑地課 主事                     | 川村和哉氏     | 関係機関           |
| (出席者 13名の内、委員 10名) |                                                |                                    |           |                |
| 事務局                | 建設部<br>建設部 都市計画課<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃<br>〃 | 部長                                 | 稲垣生夫 (欠席) |                |
|                    |                                                | 課長                                 | 小笠原盛明     |                |
|                    |                                                | 主幹                                 | 志賀雅樹      |                |
|                    |                                                | 課長補佐                               | 亀島弘樹      |                |
|                    |                                                | 担当係長                               | 亀島政司      |                |
|                    |                                                | 担当係長                               | 長谷川和幸     |                |
|                    |                                                | 主査                                 | 金田雪雄      |                |
|                    |                                                |                                    | 白崎益恵      |                |
|                    | 昭和株式会社                                         |                                    | 岩附香弥      |                |
|                    |                                                |                                    | 早川和菜      |                |

※欠席者：杉浦学氏（建築）、古久根枝理氏（公募市民）、清澤トキ氏（公募市民）

◆内容：

1. あいさつ

都市計画課長より開会のあいさつを行った。

2. 委員・顧問等の紹介

出席者の自己紹介、資料の確認を行った。

3. 議題

(1) 本年度の策定スケジュールについて

事務局より、本年度の策定スケジュールとして資料1の説明を行った。資料1に関する意見は特になかった。

(2) 第2回碧南市景色づくり委員会で出された主な意見について

事務局より、第2回景色づくり委員会で出された意見の対応として資料2の説明を行った。資料2に関する意見は以下のとおりである。

委員長) 農地については、市街化区域と市街化調整区域に分けて議論していくべきである。

(3) 景観計画(素案)について(地域区分の設定についての考え方)

事務局より、資料3の地域区分の設定について説明を行った。資料3に関する意見は以下のとおりである。

【質疑応答】

A委員) 用語の使い方に疑問がある。油ヶ淵基本軸は、ゾーンにして、もし軸を設定するならば、油ヶ淵の水面のみとしたほうが良い。旧陸地と旧海という区分と旧集落と臨海部の区分に違和感があり、臨海部は旧海、旧集落は旧陸地と整理できる。さらに油ヶ淵基本軸をゾーンにして旧海に分類することですっきりする。ゾーン区分の考え方ではなく、言葉の使い方に違和感がある。今後の方針の書き方によっても区分が変わってくると思うが、区分の考え方ではなく、「言葉」が分かりにくかった。

**D 委員）** 県が指定している地域区分のパターンはないのか。もしあるのならば、その区分に従っても良いのではないか。

**委員長）** 地域区分は、各市町村の特性に沿うように設定するため、今回は市独自の区分を考えている。

**副委員長）** まず、内陸部についてのみ地域の変遷が検討されていて、臨海部の変遷が検討されていないところに違和感がある。臨海部は基本的に埋め立て地であるが、埋め立ての変遷があり、その変遷により工業地帯の風景も少しずつ違ってくると思う。必要であれば埋め立ての変遷を分析することで、のちのちの工場地帯の風景を考える上で役に立つのではないかと思う。

**F 委員）** 写真での説明において同じ場所が、軸やゾーンなどと表記が異なっていることに違和感がある。

**事務局）** 旧海岸線基本軸は、ゾーンと重なっているため重複部分がある。そのため、写真によっては、異なる地域で使用している場合がある。

**委員長）** 線は軸、面はゾーンとして設定すれば、誤解は生じないが、中には面が軸となっており、区分の仕方が異なっているものもある。

**A 委員）** 写真の見せ方は、写真に線や面を点線で引いて画像処理することで、分かり易くすることができる。

**副委員長）** 軸は細長いもので、軸の特徴を説明する場合には、断面がどうなっているかが重要である。崖や緑、左右の高低差、河川幅、脇の道路、建物の立地等の状況によって、それぞれの軸の特徴を示す断面がある。そのため、それぞれの断面の特徴を捉えて方針を示す必要がある。軸の断面の特徴から外れているところについては、今後改善していこうという議論に発展していくと思う。軸の特徴は断面であるため、そういう意味でも油ヶ淵は軸でなくゾーンであると思う。また、市街地の中でも開発時期によって道路や建物密度、公共空間のデザイン、建築物等が異なるため、さらに市街地の中でも類型化し、特徴ある

まとめりごとに景観を考えていくことが出来き、また地域で行われている活動に繋がると思う。

農地も同様に、農作物や基盤整備の方法で風景が異なるため、細分化して類型化することで方針に盛り込んでいくこともできる。機械的に細分化するのではなく、景観の方針検討と併せて細分化することで、作業を進めていく上で無駄がないと思う。

**C委員**）碧南は他市と比べ農地が多いことが特徴だが、農地の細分化とは、畑や田、市街化調整区域の様な区分で分類するという意味か。

**副委員長**）基本的にそういうことである。どこまで田園風景について景観計画の中で触れるかということにもなるが、もし詳細に示すなら農地のタイプによって区分し、方針等に反映させていってほしい。

**委員長**）同じ農地でも、市街化区域内にある農地の意味、市街化調整区域内にある農地の意味等、今後の景観計画の作り方によって農地のあり方の意味に違いが生じた場合に、農地の区分を行うといいですね。

**G委員**）地図は平面であるが、地形が重要であり、津波がきたらどこへ逃げたら良いかなど、標高についてはどのように検討されているか。

**事務局**）標高については、資料3の5ページの検証2で考慮している。

**A委員**）景観行政と直接リンクしないがハザードマップとの調整はどうしているのか。

**副委員長**）今回の分析で地形については網羅され、浸水についても考慮されていると思う。地質の分析などはなかなか景観計画と関連してこないが、市街地の類型を行う際に、成り立ちや地質も含めて考慮すると有効かもしれない。

**A委員**）昔の集落が安全である気がする。

**E 委員）** 歴史的に大浜街道は当時の一番高いところにできている。

**B 委員）** 大浜の南は干潟でどこから旧海かは区分できないと思うが、旧海岸線の定義についてどのように考えているか。

**事務局）** 江戸時代の古地図等を使用して、検証した。

**委員長）** 海岸線上に地形変化が激しく現れるため、平坦な碧南市であっても地形変化があり、海岸線上には緑地が残る等、海岸線上に景観上注目が集まっていると言う経緯がある。しかし、全ての海岸線上にその様な特徴が残っていないため、海岸線上に残っているいくつかの資源に注目して、海岸線を繋げて形にしていると思う。

**G 委員）** 私の家は清水町という地名で、近くの土地を、少し掘ると水や貝殻が出たり、池に水を足さなくても金魚が飼えた。清水という地名は、水にゆかりがあり、地域の歴史を示していると思う。

**委員長）** 全体を通して、顧問の方から感想があれば、お願いしたい。

**顧問）** 碧南市は海に接し、埋め立てによって市域を拡大しているのが特徴である。旧海岸線がどこに残っているかを検討しているところが特徴的で興味深かった。この様な調査結果をトピックスにまとめて盛り込むことで、興味を持つ人がいるかもしれないと思った。

**顧問）** 地域別の景色づくりをどのように行っていくかということが議題となっているが、地域での合意形成が必須になってくる。地元の人が、同じ方向を向いていないと良いものが出来ないため、地元としてのまとまりも考慮する必要がある。

#### 4. 連絡事項

事務局より、以下のとおり連絡事項をお伝えした。

- ・第4回碧南市景色づくり研究会 7月22日（金）

- ・ 次回の議題は「地域区分別の景色づくりの基本方針の検討」である。
- ・ 昨今会議の透明性ということで碧南市においても会議の公開を進めている。  
今年度は引き続き、会議の資料と議事録については公開をしていく。次年度以降、公開会議として考えていく必要があるかもしれないため、その際には協力をお願いする。
- ・ 次回の碧南市景色づくり委員会の日程は、8月20日前後を予定している。詳細な日程が決まり次第、市より連絡する。
- ・ 本年度の年間日程については、決まり次第市より連絡する。

## 5. 閉会

－以上－